婦人と新社會

山田わか主筆

新年號

○觀念及び事實としての國民
○山本首相と政友會
○帝都復興と當事者の誠意
○婦人運動の强敵
○公娼問題と社會事業調査會
○乘物と婦人

毎月一回一日發行　第四十六號　大正十三年一月一日發行

大正十二年十二月廿三日印刷納本

觀念及び事實としての國民

一小團體の共同よりも國民の共同の方が社會的遺傳に一層多く支配せられる。一小團體のうちでは團員各自の直接の感情や記憶に付て考へれば足りるが一國となると國民全部の感情や記憶に付て考へなければならない。

そして、其處から割出して一國民と云ふ者は如何なるタイプの者であるかと云ふ觀念を各國民は持つて居なければならぬのであるが、併し、今日に於ては其の一國民と云ふ觀念が學者とか思想家とか稱せられる者のいゝ加減な空想によつて形成され、それを其のまま國民が自分の生活に取り入れて居る處に大きな不滿が釀されてゐる。

個人的の又は社會的の遺傳のために事實としての國民は各自の間に大なる差があるにも拘らず、所謂學者又は思想家の造つた　家觀念によれば國民が平等であるので其處に大きな喰ひ違ひがある。

個人と個人の間には大なる差があることを認めた上での社會的平等に接近し、從つて各人には生產能率の差がある事實を一層明瞭に理解し、そして、さう云ふ考への上に各人が各人の仕事に喜んで從事するようになつて各人の滿足は可能になり現代の產業的國家は强固になる。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

帝都復興と當事者の誠意

土耳古のハールンが王狩獵に出かけた時彼は、果樹の苗を植へてゐる一人の老人を見かけました。「何と云ふ馬鹿な老人だらう！　あの苗が大きくなつて、そして、果實を結ぶ迄自分が生きて居られると思つて居るのだらうか？」と王は從者を顧みて云ひました。そして、老人の傍へツカ〳〵進んで行つて、「一體、お前はいくつになるのだ？」と尋ねました。「八十歳をもう越へました」と老人は答へました。

「お前はもう何年生きるつもりで其の苗を植へて居るのだ。其の苗は容易に果實を結びはしないお前はまるで靑年がするようなことをしてゐる。何だつてそんなつまらない仕事をして居るのだ？」と云ふ王の言葉に老人は答へました。「此の苗が成長して結んだ果實を私自身が食べようと食べまいと、又、どんな人が取つて食べようと其れは問題ではありません。私は、唯、此の苗を植へると云ふことが喜ばしいのです。私共の先祖が植へた苗が大きくなつて結んだ果實を食べて私共は樂しみ生きて來ました。私共の先祖は唯働いたゞけで其の結果を享有しませんでした。そして私共が其れ

を享有しました。ですから、私共が私共の子孫のために苗を植へて置くと云ふことは正しい行爲だと思ひます。自分の勞力の結果を享有する者に對して嫉みを持つ必要はありません」

ハールン王は老人の其の答へに非常に感激して金貨を一摑み取り出して其の老人に與へました。するど老人は大聲に叫びました。

「私の今日の仕事が無駄であると誰が云ひ得るだらう。今植へた許りの苗木がもうこんなに豐富な黃金の果實を齎した。」

以上は小學讀本の中の一章です。小學讀本ですから勿論兒童に讀ませるものでありますが、併し我が日本の目下の帝都復興事業に參與してゐる人々にむしろ老人達に讀ませる必要があると考へられるのは皮肉だと私は思ひます。

我が日本は地震國である、我が帝都は火事早いと云ふことは三ツ兒でも知つてゐます。三ツ兒でも知つて居る程に地震及び火事の災害は國民の腦裏に刻みつけられてあります。本誌十一月號の「おことはり」のうちにも一寸書いて置いた通り一個人としては恐しい其の災害の經驗を度々は嘗めて居なくとも一國家としては又は一都市としては十二分の戰慄すべき經驗を持つて居ます。けれども

我が國民のうちにいむしろ、施政者のうちに、前述の未來のために、樹の苗を植へる心掛けを持つた者が少なかつたゝめに、如何にして其の震災火災を防止すべきかと云ふことを眞劍になつて考へなかつた。そして、其の結果が今回の大悲慘事であつたのです。つまり、目前の云ひかへれは自分自身の利害を考へるに忙しくて未來のことなど考へて居ない。其の結果が無數の生命を焦熱地獄の中へ陥れて燒き殺してしまつたのです。

で、私はこれを天災でない人災であると云ふのです。震火災當時に於ては帝都復興計畫が大々的であるらしく、つまり、道路を大いに取り擴げ、公園を多くするらしいので、今後は如何なる大震大火があつても今回のように人命を無駄にしなくても濟むらしく思へましたので其の點に關しては安心して居ましたが、其の計畫はだん／＼小さくなつて殆んど單なる復舊に止まるらしいのは遺憾此の上もない、否、帝都復興事業に參與して居る人々の無神經無感覺を憤慨せずには居られません

差し當り自分自身の利益になるのでないからと云つて、將來の禍を無視すると云ふことは實際良心が痲痺して居る、人道的精神が皆無である。さう云ふ人々は斷じて帝都復興事業などに參與する資格はないと思ひます。萬人の幸福のために百年の計があつてこそ始めて其の有資格者であります

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

何かと云ふと直ぐ經費の問題が持ち出されますが、併し、私は或る銀行の頭取が一銀行などと云ふ大きな一ツの世帯をやりくりすることは自分の小さい私生活の世帯をやりくりするよりは餘程らくなものだ。なぜなら、自分の世帯は所有するもの丶範圍が餘まりに狹く限られてあるに反して、銀行の方は所有して居るものが大きく範圍も廣いので伸縮が自由自在であるから。」と云つたのを覺へて居ますが本當にさうだと思ひます。

もし、我が帝都の將來を思ふ誠意がありさへすれば、小さくとも一國を包括して居る我が帝都東京の大世帯のために費す金は何處からでも出て來るものであることを私は信じます。其れが捻出されないと云ふのは、さうするだけの誠意が當局に無いのか、それとも又誠意らしいものはあつても信用がない、云ひかへれば無駄にされはしまいかと云ふ杞憂から出るべき金も出ないのではないかとも考へられます。

いづれにしろ、萬をもつて數ふる慘死者を出し、我が日本全國の富の何割かを灰燼に歸してもまだ目覺むる處がなく、目前の慾に囚はれ、此の千載一遇の帝都改造期を逸して、單なる復舊に止めて置くならば恨みは永久に殘るに相違ありません。

婦人運動の强敵

婦人の運動の性質はだん〳〵と變つて來るものであり、性質が變つて來るに從つて其の敵の性質も變つて來て、最初の嘲笑的罵倒的が議論的となり、最後には陰謀的となると云ふことは前號に於て云つて置きました。我が國婦人の運動がいよ〳〵政治的經濟的の色彩を帶ぶるようになり、一種の營業に從事、乃至、投資して居る人々に打擊を與へるようになつた今は、必ず敵の陰謀なるものが廻らされるに相違ないのですから婦人運動者の參考のために米國の婦人參政權獲得運動者が嘗めさせられた經驗に付て聊か申上げて置きませう。

米國婦人に參政權を持たせまいとして大々的に陰謀を廻して居たものは米國の酒造家協會でありました。此の酒造家協會なるものは國民の幸福と云ふことを全く無視して自分等の營利をのみ考へて居る不德義極まるものであると云ふことは、其れが一八六二年中南北戰爭のために國民全體が死ぬか生きるかと云ふ危急な場合に遭遇してゐる最中に、そんなことは無關心に設立されたと云ふことによつても明らかです。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

出來るだけ多くの酒を賣つて營利を占めようと云ふことの外は何にも考へて居ない彼等は、酒の害を認めてボツ〳〵禁酒運動を始めて居る婦人達が參政權を獲得した結果を非常に恐れて居ましたですから、一年に二百十萬弗もの運動費を使つて婦人參政權が議會を通過しないように、正義の人の足をすくはうとして縱横十文字に政治上の繩張りをしました。そして、四十年間婦人の手に參政權が歸することを妨げて居ました。

酒造家協會は合衆國の政黨の中へ人を入れて置いて、そして、禁酒法案及び婦人參政權の模様を全國に渡つて監視してゐました。そして、どんなに議員始め時の權力者を買收しても、猶、婦人參政權が有力になつたと見た場合には、彼等は選擧人製造を始めました。選擧人名簿が無いのを幸ひにして外國人を狩りあつめて人頭稅を拂つて、そして自分達に都合のよい投票をさせるのでした。或る時などは此の僞せの選擧人を一度に七萬人も造つたと云ふことです。

一九一一年の調査によると此の酒造家協會の會員の數は二百五十萬人、各地への支部が一萬、機關新聞は七百もあり、そして、中央機關新聞は『ナショナル・ブルテン』と云ふのです。議員買收部はワシントンにありました。かくの如くに大々的に酒造家協會が法律上の保護を受けて私利を安

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全にしようと努力してゐる時に、他の一方にも多くの力が同盟して私利を法律に保護させようとしてゐる會社があります。則ち、鐵道會社、一般製造業者、牧畜、罐詰會社など、皆、どうかして特別な法律の保護を受けようくとしてゐる、そして、それには有力な團體に加はるのが好都合だと考へるので、それ等が皆酒造家協會と結託するようになりました。

鐵道會社などが婦人參政權に反對する理由は無い筈だと皆考へて居たのですが、酒造家協會とさう云ふ關係があつたからだと云ふことは後になつて氣付いたのだそうです。鐵道會社の利益を保護するのが目的で雇はれた運動員等は皆婦人參政權には反對すると云ふ祕密の約束をして居たと云ふことです。

又、合衆國小賣商同盟の機關新聞は「もし、婦人が選擧權を獲得すれば必ず禁酒法案が通過する禁酒法案が通過すれば農夫は穀物を作ることを止めなければならない。ビール製造が不可能となるから。酒屋の小賣場も勿論無くなる。であるから、我々の生活、自由、市民權を保護したいと思ふならば婦人參政權には極力反對しなければならない」と云ふ論調であつて、そして、ツイには其れに卷き込まれて農夫の共同組合も亦婦人參政權に反對するようになり、小賣酒屋に關係ある電燈及び

ギヤス會社、家具屋、陶器、グラス器屋、藥屋、煙草屋共の次にはホテル同盟迄が婦人の運動に反對するようになりました。

かくの如くに、あらゆる方面の關係をたぐつて味方に引き入れ、そして、大金をかけて婦人參政權獲得運動に陰然對抗してゐるのですから、婦人運動者も亦其れに對抗して行くだけの力の集中と運動費の調達をして行かなければなりませんでした。或る理由から米國婦人が大きな金を此の運動のために寄附したと云ふことは一度本誌に書いたことがありますが、併し、熱心な眞面目な婦人運動者達は電車に乘る處も歩いて實に五錢十錢づゝからあつめたと云はれてゐます。持つて居るだけの旅費を皆運動のために提供してしまつて汽車に乘る處を歩いて歸つた人もあるそうです。

酒造家及び其の他の團體が自己保存のために公然に正々堂々と運動して輿論に訴へると云ふならば共處に恕すべき點もあります。けれども祕密に運動して居たことによつて共處には一ツの倫理も民主々義の原則も、多數の人の權利も認められないことは明らかです。

政黨機關は酒造家が利用するには完全な道具でした。所謂政黨の首領は酒造家の有力な相手でした。それ等の政黨の親方株と政黨と云ふ機關が長い間酒造家の利益を堅固に守つて來たのでした。

そして、又、酒造家はそれ等の親方株と政黨機關の勢力を常に增大しつゝありました。酒造家の金の力と親方株の位置の力と此の二者の力が相待つて政黨を操縱し、黨の綱領を左右し、黨の候補者を造つてゐました。そして、如何なる黨派も其の大勢力に反對を試みることは出來ない。もし、反對すれば其れは自滅を招ぐことになりますから、自分の生活を危機に陷れるよりはむしろ競爭者と同盟してしまうと云ふのが人の常であります。

禁酒法が善いものであれ惡いものであれ、さう云ふ陰謀によつて自家を守らうとしたことは憎んでも猶餘まりがあります。米國婦人が蹶然立ち上がつて、全國婦人の後援の力によつてとう／＼參政權を獲得すると同時に、一瀉千里に禁酒法案を通過させて、そして、常に、政治界を濁して居た酒造家の惡影響を一掃してしまつたことは痛快の至りです。

酒造家なるものゝ不正な取りこし苦勞は却つて自滅を早めることになつたのです。なぜなら、もし、其のような惡辣なる手段を用ひて婦人參政權に反對しなかつたならば、婦人達もまだ外にも仕事があるのですから、參政權を得るや否や酒屋を叩きつぶすようなことをしなかつたかも知れません。つまり酒造家達が取た方法は婦人の頭を打うとして、自分等の頭を打つことになつたのです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

乘物と婦人

列車内の犯罪を防止するために鐵道省では三府二十三縣下に亘つて移動警察の制度を布いて居たが列車に乘込む警官が極めて少ないため其の効果が充分上がらなかつたので、今度いよ〳〵鐵道警察の新制度を設け、驛長や車掌に警察權を與へて列車内の犯罪を取締ることになつたと云ふことです。

つまり、列車内に起る犯罪に對し犯人の逮捕、尋問、監禁、告發等凡ての警察權を驛長や車掌が行使することになるのださうですが、其の取締り事項の中には風儀問題をも是非取り入れられることを私は當局に切望します。長い汽車旅行に於て私達が最も苦痛とする處のものは猥褻な話に花を咲かせたり、婦人に對してみだらがはしい態度をする人々と乘り合はせることです。殊に、子供を連れて居る場合には其の迷惑は一通りでありません。

〇

電車内の取締りに關しても何とか方法を設けられることを希望します。これは今始まつたことで

はないのですが、此の頃電車がこみ合つて居るので其れを好機とし若い婦人達を愚弄しようとする風の悪い男子が多くなつて毎月のように私は其の訴へを聞きます。愚弄された婦人の周圍に乗り合せた二三人の人を證據人として車掌に訴へ、車掌は其れ等の痴漢を次の停留所で巡査に引き渡すと云ふような方法でも設けてないことには若い婦人は電車にも乗れないようになります。

○

列車内にしろ、電車内にしろ、乗客の生命と物品の保護だけでは足りません。生理上の黴菌が次ぎから次ぎへと傳播して悪病を蔓延させて行くように、風儀の悪い人々が精神上の黴菌を散布して靑年子女の清潔な心に汚點を刻し健實に成長しなければならない若い心を毒する虞が甚大である處に當局は氣付かねばなりません。

○

規則を設け、罰則を造ると云ふことは斷じて好ましいことではありません。けれども非常識な愚劣な人間が多い時には良民保護のために其れは止むを得ないのです。一般人が非常識で一社會人として生きて行く道を知らないと云ふことの證據は省線電車内の禁煙問題が明らかに表示してゐます

省線電車は煙草が一般乘客に迷惑であることを慮つて「煙草は御遠慮下さい」と貼り出して置きましたけれども、其の貼り出しを無視して平氣で喫煙する者があるので今度は其れを見る度毎に車掌が「煙草は御遠慮下さい」とどなることにしたさうですが、それでも猶止まなければ此の次には何にか罰則を設けることになるでせう。そして、罰則が無ければ他人の迷惑は少しもかまはないと云ふ此の非文明的行動は至る處に散見される事實ですが、我が國民の實質が此の程度でありますから、實際普通選擧の結果が思ひやられます。

　現に存在してゐる規則や罰則が用のないものとなり撤廢されて行くと云ふ調子であつてこそ、進歩向上したのであり、我がため人のために政治に參與する資格が出來たと云へるのですが、あらゆる方面に新らたな規則を造つて行かなければならないと云ふのでは實に心細い極みです。

○

鐵道警察の新制度に對して報知新聞の「其の日〱」欄は「驛長を署長、驛夫を巡査格の鐵道警察いよ〱實施、乘客ども、控へ居らうぞ」と云ひ、省線の定期券に本人の寫眞を入れさせようとの說に對して朝日新聞の「今日の問題」欄にはむしろ「指紋がいゝ」とあつて、つまり、それ等の新制度

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

や說が時代思想に逆行したものであることを揶揄したものです。で、私は其の揶揄する氣持ちを充分理解すると同時に、一方さう云ふ制度を設けたり說を立てたりしなければならぬ事實が厳然と存在することを悲しむものであります。

公娼問題と社會事業調査會

澁澤子爵を首腦とする社會事業調査會では、公娼廢止論の代表者等と廢止反對の醫師の一部の學者等との立會討論をして貰ふ計畫があるとか、十二月八日の「報知新聞」は傳へて居ますが、其のようなお芝居はもう止めて欲しいと思ひます。

議論は既でに盡きてゐます。其の證據には何處の國に人身の賣買を公認すると云ふような恥づべき制度が存在して居ますか？

そんな計畫をするだけ、それだけ社會事業調査會なるものの道德的標準の低劣なことを社會に、否、世界に發表するようなものです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

山本首相と政友會

本號の「帝都復興と當事者の誠意」は今より一週間前に書いたものでして、御讀み下さいます通り帝都復興計畫の規模が縮小されたことを難じたものですが、昨日（十二月十九日）の衆議院復興豫算討議本會議に於て、又々、其の縮少された計畫が更に縮少されることになりました。多數黨政友會の理不盡なる政略のために政府の復興豫算を大削減しなければならないことになりました。

それに對して憲政會を始め、革新俱樂部庚申俱樂部の面々、及び諸新聞の論調は山本首相、並びに、後藤内相の政友會への盲從、弱腰、意氣地無し、屈從的態度と云つて盛んに攻擊の矢を放つてゐますが、併し、此の非常時に際して、罹災者百萬の窮狀を顧み、一日も早く安寧を期するため、又二つには御慶事前に政爭を避けようとして議會解散の擧にも、内閣總辭職の態度にも出なかつた山本首相の苦衷を私共は買つて上げなければならないと思ひます。

議會で議決されることが直ちに私共の生活を左右することになるので、止むを得ず、新聞によつて其の議事振りを私共は見てゐるのですが、實に、それは不愉快です。十九日の本會議に於て、三

土忠造氏が政友會を代表して「……此の際の事業は應急の復舊に止めたいと考へて修正を加へた」と政友會の修正意見を述べて居ますが、實に、私は「帝都復興と當事者の誠意」のうちで云つて置いた理由によつて、「恥を知れ！」と云つてやりたくなりました。その外、黨の意見が通過したので議會に於ける政友會員の勝誇つた傲慢な態度、閣員に對する潮笑的な仕打は本當ににくらしい。

政府は忍從に忍從をして、急を要する此の臨時議會だけを無事に通過させ、そして、御慶事も濟んだ後では、大いに、强くなり、政友會の傲慢な鼻柱をひつぱたいてやることを私は望んでゐます議會解散をくらはして、政友會の橫暴振りを、國民に批判させるがよいと思ひます。

山本首相が御慶事前だからと云つたのに對して、「御慶事は政治に非ず」と云つて居る人が大分ある。御慶事は御慶事、政治は政治、別なものだと云ふのですが、成程、見ようによつては別なものでせう。けれども、一家のことにした處が、家政と結婚とは別なものだと云つても、先づ整理出來るものは整理して置き、面倒な問題は出來るだけ解決して置いて、そうして、一族一同がのどかな心持ちで結婚を祝したいと云ふのが人情です。地震と御慶事とは全然別なものだが、併し、地震のために御慶事が現に延びたではありませんか。今、總辭職或ひは解散があつて政界が亂れるならば御慶事が又々延びるようなことはないかを私共は恐れます。徒らに政府者を誣るような言葉を弄するのは却つて醜いです。これを裏面から見れば政黨政治家の國民の利益を無視した遊戯に過ぎない。

編輯の後

少しも落ち付きのない日が續きました。火事があつたらこうしよう、こんど地震が來たらあゝもして逃げようと云ふようなことばかり話し合つてゐる荒廢の東京へも新年が參りました。けれども、此の新年を壽き祝ふような心持ちになれないのは、恐らく、私ばかりではないでせう。殊に私個人としては突然姉妹になつた妹の淋しい姿を見詰めて暮して居る上に、又、十二月初旬に私達姉妹のためにはたつた一人の兄を失ひました。倒れかゝつた貧しい農家の重い負擔を背負ひきれないでヨロ〱と危い足取りの一生をとう〱終りました。私自身の人生への旅の出立點は此の兄への同情からでありました。兄の生活を樂にしてやりたいと云ふ希望に燃へて私は苦痛の多い社會へ飛び出したのでした。其の兄がもう此の世に無い今は私の心に輕くなつたような、又、生きる目的の一部分を奪はれたような變てこな心持ちで御座います。それやこれやの理由の爲に、新年の御祝詞を申上げることは差しひかへることに致しました。どうぞ惡しからず御諒察の程御願ひ致します。

さま〱な人間の思ひなどは知らぬ顔に、去年咲いた鉢植の梅は蕾を一杯ふくらませ始めました。水仙の球根からはガッシリした青い芽がスク〱と伸びて來ました。にくらしいような氣持ちもすると同時に、又、こう云ふ無心なものによつて私共の痛んだ心が慰められ其の傷跡が癒やされて行くのも確だと思ひます

本誌臨時定價表

一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

■誌代及郵税は前金の事■御送金の際は振替貯金東京五二六八八番に御拂込みのこと■郵券代用は五厘切手にて一割増■廣告は御照會次第御相談いたします

大正十二年十二月廿三日印刷納本
大正十三年一月一日發行

編輯兼發行人　東京市四谷區南伊賀町四一　山田嘉吉
印刷人　東京市牛込區山吹町一八九　大杉直次郎
發行所　東京市四谷區南伊賀町四一　婦人と新社會
振替東京五三六八八

英語 獨、佛、西 羅甸初歩 自由教授

○予が教授の趣意○

○予が英語教授の目的は、一般士人たるに必要な根本の智識を、主として英書に依つて獲得せんとする篤志者に對し、之を補助し之を奬勵するにある。

○予が多年の經驗に依れば、撰擇宜しきを得た若干の書籍を、適當な順序で正確に讀破することは、專門家たるを要せぬ一般讀書子に取りて、眞に多大の效果がある。『今日の眞の大學は印刷した書籍の倉庫である』とカーライルは云つた、讀書子は大學に入らずに、能く學者たるの識見を養ひ得ることは、今や何人も之を認むる所である。現代の多くの男女にとりて、大學や高等の諸學校に入るは、容易のことではない。故に學校以外にある篤學の士は、最も善き種類と最も適當なる課程の讀書に、其餘暇を利用し、獨り靜かに智識を貯ふべきである。

○故に予は、書籍の撰擇と讀書の順序とに、特別の注意を拂ひ、以て篤志な獨學者の友となり、他日その人をして、如何なる社會に立つとも、決して恥かしくないだけの學識を修得させたい考である。

○特に予は、篤學な婦人の爲に、婦人問題の研究を勸めたい。苟くも現代、進歩主義の男女にして、予が如上の志を諒とする諸君は、予が私塾に於て、有ゆる便宜と厚遇とを享くるの特權を有する。

◇略則

△教授科目□日用英語□英文學□政治、經濟、法律、哲學、宗教、社會學等に關する英文名著の讀み及び講義□獨、佛、西、及び甸語初歩

△時間（午前八時より午後八時まで）

△休日（土曜、日曜及び祭日）

△月謝□二十分間五圓□四十分間十圓

○入學の月より其翌月の同日までを一ヶ月とし總て前納の事

△束修 金貳圓

□尚ほ英文和譯、和文英譯の需めに應ず

東京市四谷區
南伊賀町四一

山田嘉吉

山田わか著

〔四六判三百五十頁　定價金貳圓〕
〔總クロース美本　送料金拾五錢〕

再版

戀愛の社會的意義

目次大要

富を造る事と幸福を造る事――戀愛と結婚……戀愛に對する男子の態度――菊榮氏の「女も進んで求婚すべし」に附て――結婚道德の一ツ――墮胎に附て――戀愛の自由と本能――女子教育の基調――産業機關は墓所のため――戀愛と藝術――家庭を追はれた産業婦人――婦人運動の歸着點――メレデスの靈肉觀――母と社會改革――婦人の智的生活――禽獸の親子關係【其他十七問題】

發賣所　振替東京五三六八八　東京市四谷區南伊賀町四十一番地　婦人と新社會社